

ご自由にお持ち帰りください。

Please feel free to take one.

JR北海道
車内誌

Some articles are available in foreign languages.

June
2021

6

No.400

The JR Hokkaido

あした
未来へつなぐ コロナ対策として、非対面型サービスの強化・推進に努めています
連載エッセイ 人生讃歌 くさ口ずさむ歌 小檜山 博

北海道・東北新幹線、特急列車時刻掲載／JR北海道路線図掲載

特集

勇払原野ハスカップ紀行

— 奇跡の果実を分かち合う —



わが村は美しく

札幌市編

第九回奨励賞

株式会社ふるさとファーム



子どもたちが農業に触れるフィールド「カレーライス畑」。秋の収穫が待ち遠しい。



夏場の主力商品のミニトマト。

お話をしてくれた人



(株)ふるさとファーム
代表取締役 東海林幸恵さん



「札幌野菜」を食卓へ
そして、農業の現場を
みんなの田舎に、ふるさとに。

大都市・札幌で
新規就農!?

北海道観光の中心地・札幌市で、一〇二一年に新規就農をした会社がある。株式会社ふるさとファームだ。同市南区石山六区地区で耕作放棄地を整備し、一畝ほどの耕作面積にミニトマトハウスを建て、農業を始めた。代表取締役の東海林幸恵さんは話す。「夏場のミニトマト栽培からスタートしました。その後、周囲の耕作放棄地を借り上げ、現在は五畝ほど、ハウス十二棟まで広がりました」。ふるさとファームという名称には「ここがいつかみんなの田舎、みんなのふるさとになりますように」という願いが込められているのだ。

栽培、収穫した野菜は自分たちで袋詰めし消費者へ届けることを基本としている。その主力商品は「札幌蕃茄」だ。「五年前にミニトマトを『札幌蕃茄』の名でブランド化しました」と東海林さん。蕃茄とはトマトの意味である。徐々に販路を広げ、栽培品目も増やしてきた。冬場は寒締めホウレンソウを主力とし、露地で長ネギや白菜、カボチャ、大根などの野菜を栽培している。これらの販路の一つがコープさっぽろの「ご近所やさい」。収穫当日、もしくは翌日には店頭で「札幌野菜」として売られる。実は、筆者も「ご近所やさい」の愛好者だ。

なぜ札幌で？なぜ農業を？という疑問とともに、東海林さんのプロフィールが気になった。道の東の標茶町出身で、実家は酪農家。「農業に近すぎて、大切な職業だとは認識しつつも、自分が生産者になるとは考えていなかった」と言う。しかし地元

第9回コンクール



参加しよう、広げよう、いいもの伝えよう
「わが村は美しくー北海道」運動

ふるさとファームへは、札幌駅などから駅レンタカーを利用すると便利。周辺には穴の川緑地が整備され、川沿いには遊歩道もある。「札幌蕃茄」はネットからも購入できる。今年の収穫をお楽しみに。

お問い合わせ / ☎011-215-1985



トマトが終わったハウスでは、冬の作物として寒締めホウレンソウを栽培。



「札幌蕃茄」のブランド名で袋詰めされ店頭に並ぶ。品種は「アイコ」。



田植え、草取り、稲刈りと春から秋まで田んぼで大切に育てられ、最後に天日干しして完成。



ジャガイモ、ニンジンなどカレーライスに必要な作物を育てて秋には収穫祭としてカレーライスを作って食べる。



自然の太陽と肥沃な土壌で育てられているミニトマト。野菜本来の味を大切にしている。

順調そうに見えたが、思わぬところで弊害が…。「最初はトウモロコシも作っていました。ご近所さんから『買えるの?』と声がかかるようになり、直売所の可能性も感じていたので。しかし野生動物による被害がひどく、五年ほど前にやめてしまいました」。畑のすぐ横には、石狩川水系豊平川の支流である穴の川が流れ、森が続いているため動物が来ること

食農教育への 思いは強く

の高校で食品加工や環境を学ぶうち、農業への関心が高まり、教職を目指して酪農学園大学に進学。「でも、教える立場になつた時、何を伝えていいのか考え込むことが多くなつて…。その後、農業系のNPO法人などで仕事をするうち、農業への関心は確かなものになりました」。NPOで出会った仲間と会社を設立、現在は代表取締役就任している。

もしかばばだ。
ふるさとファームでは設立以来、農業を通じた食育活動に取り組んでいる。毎月一回、市内の子どもたちが農作業の体験をする「カレーライス畑」を設け、お米、ジャガイモ、ニンジン、玉ねぎといったカレーライスに必要な野菜を栽培。「苗植え、草取り、収穫まで一貫して体験し、収穫祭ではみんなでカレーライスを作って食べる。畑でカエルやバッタを捕まえるなど、自然を身近に感じてもらうことができるんですよ」と話す。地域の高齢者たちもボランティアとして手助けをしてきているそう。今はコロナ禍で中断しているが、収まればすぐにも再開したい意向だ。
今後のことにはふれると、「これから近くの人においしい野菜を届け続けたい。鮮度の良さが味に直結していると思うので」と強調した。農業との向き合い方は人それぞれだ。話の随所で東海林さんの真摯さが伝わってくる。今年の夏は、その思いが詰まった「札幌蕃茄」を食べよう」と心に決めた。



「わが村は美しく北海道」運動 第10回コンクール募集開始

「わが村は美しく北海道」運動は、北海道の農林水産業をより豊かにするために2001年にスタートしました。2年に1度コンクール形式で優秀な活動を表彰しています。地域の資源を掘り起こし、地域の活力とすると同時に活動を広くアピールし、豊かな北海道を未来へと受け継いでいくことを目的としています。お問い合わせ/国土交通省 北海道開発局 農業水産部 農業振興課 ☎ 011-709-2311(内線5685)

